

# むかしむかし 昔々の そお市

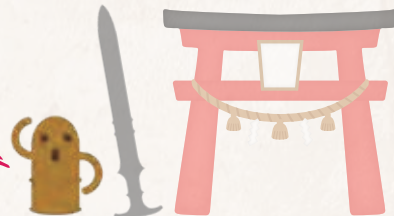
郷土を知る

社会教育課 文化財係 ☎ 099-482-5958

第24回

あま いわと  
天の岩戸の伝承地

さくらだに  
佐久良谷



本神話の伝承地は全国各地にあります。末吉町南之郷にもそのような地が存在します。

南之郷には、国産みを行ったイザナギとイザナミの夫婦神が降り立った地・柄基（橋野）、多くの神々が産まれた禊ぎの地・中津瀬（櫛小前）、神々の住む高天原（高岡）などの伝承地が数多くあります。その高天原の一角に、佐久良谷（桜谷）という場所があります。

佐久良谷一帯は、江戸時代に薩摩藩が編纂した地誌『三国名勝図会』に「神代の旧跡」として紹介され、ここにある洞穴を有名な伝説の舞台「天の岩戸」としています。

「天の岩戸」の伝説とは、太陽の女神アマテラスが弟スサノヲの乱行に恐れをなして、岩戸に引き籠ったことで世の中が暗闇に包まれてしまいました。諸神は皆で集まって唄や踊りを賑やかに演じて、アマテラスを岩戸からうまく誘い出し、再び世の中を明るくしたという話です。

佐久良谷の洞穴は、大岩で塞がれた状態になっており、まさにア

マテラスの隠れた岩戸を彷彿とさせ、神話の世界に引きずり込まれたような感じを受けます。

それゆえに、神話の聖地として、江戸時代も広く知られ、信仰を集めていました。また近代においても、戦争に赴く際にはここに参詣したといい、末吉町内だけでなく、遠方からの参詣者も多かったといえます。

全国に「天の岩戸」の伝承地はいくつかありますが、鹿児島県内ではあまり例がなく、珍しい史跡と言えます。

現在も地元高岡の人々により清掃が行われ、神話ゆかりの地を今に守り伝えています。



佐久良谷入口

## 別の顔を持つ佐久良谷

江戸後期の勤皇思想家である高山彦九郎の『筑紫日記』にも佐久良谷のことが記されています。

寛政4年(1792)6月4日、彦九郎が末吉の町で聞いた話として、「桜谷とて巽二里半斗に窟あり…(中略)…是レを桜谷と号す、世俗志シの悪しきものは岩に挟まれぬと伝ふ」とあります。

当時、今とは違うイメージを持っていたのも興味深いです。



※林道は道幅が狭いので注意して走行してください。

曾於市ホームページ  
佐久良谷(桜谷)

